

第50回 バトントワリング全国大会九州予選

第27回 全九州バトンフェスティバル

第10回 全九州フリースタイルコンテスト

基本実施要項

実施規定



日本バトン協会九州支部

大会概要

■主 旨 本大会は、一般社団法人 日本バトン協会の目的である、学校や地域社会におけるバトントワーリングの普及・振興を図り、豊かな情操と協調性、責任感や自主性、創造性を培い、青少年の健全育成や芸術文化の発展、地域社会の活性化に寄与することを目的とする。

■大会名称 第50回バトントワーリング全国大会九州予選
第27回全九州バトンフェスティバル
第10回全九州フリースタイルコンテスト

■開催日時 2022年10月15日(土) 17:00~20:00 リハーサル (予定)

2022年10月16日(日) 9:30 開場 10:00 開会式 (予定)
第50回バトントワーリング全国大会九州予選
第27回全九州バトンフェスティバル
第10回全九州フリースタイルコンテスト

※日程及び時間は、出場団体数により変動する場合があります。

※リハーサル不参加の団体は大会当日音源確認のみ行う(フリースタイル含む)

■開催会場 飯塚市飯塚第一体育館
〒820-0081
福岡県飯塚市枝国 666-11
TEL 0948-22-6799 FAX 0948-26-1179

■主催 日本バトン協会 九州支部

■主管 福岡県バトン協会

■後援(予定) 福岡県教育委員会 飯塚市 飯塚市教育委員会
NHK 北九州放送局 RKB 毎日放送 TNC テレビ西日本
九州朝日放送 FBS 福岡放送 朝日新聞社 毎日新聞社

※コロナウィルス感染症の拡大により、開催内容に変更がある場合があります。

各種申し込みについて

参加申し込み

参加者及び参加団体は、「大会申込書」に必要事項を入力し、加盟団体ごとにまとめ
2022年8月19日(金)【必着】で下記大会事務局まで申し込むこと。

※基本実施要項・実施規定はホームページ掲載とともに、登録団体へメール送信致します。

【1】参加費

◆第50回バトントワーリング全国大会 九州予選

★団体参加費	1団体	¥13,000
★個人参加費（補欠2名を含む）	1名	¥1,000(プログラム代込)

◆第27回全九州バトンフェスティバル

★団体参加費	1団体	¥10,000
★個人参加費（登録人数分）	1名	¥1,000(プログラム代込)

◆第10回全九州フリースタイルコンテスト

★フリースタイル個人	1名	¥8,000
★フリースタイルペア	1組	¥10,000
★フリースタイルチーム	1チーム	¥15,000

注) 日本音楽著作権協会に支払う録音利用料は団体受付時に徴収する。

【2】入場券

10月16日(日)	自由席	¥3,000	(小学生 ¥1,000)
	当日券	自由席	¥3,500 (小学生 ¥1,000)

*参加者にはプログラムを配布する。(無料)

*入場券申込フォーム・入金方法につきましては後日お知らせ致します。

*コロナウィルス感染症の拡大により、無観客開催になる場合もある。

【3】写真及びビデオ撮影について

*会場内での写真撮影及びビデオ撮影は禁止する。

*館内の電源使用は不可。

*大会演技のビデオ撮影は九州支部指定の業者が行い、後日DVD販売する。

*写真及びビデオ撮影についての「回答書」は申込時に必ず提出すること。

【4】広告協賛

大会の主旨にご理解ご賛同を賜り、1口¥5,000(名称のみ掲載)のプログラム広告協賛をお願い致します。

【5】大会申込方法

- ① ホームページに掲載されている〈ウェブ申込み〉に必要な事項を入力し申し込むこと。
- ② 下記の提出物は大会事務局に送付すること。
演奏利用明細書・録音利用明細書
※JASRAC 管理楽曲以外は楽曲使用確認書（自団体作成）も必要です。
※推薦状は県大会終了後 1 週間以内に大会事務局に提出すること。
※音楽著作権使用許諾確認書（添付書類含む）は大会当日提出すること。
- ③ 参加諸費用については、下記郵便局口座へ振り込むこと。
- ④ 全ての申込み、振込みは 2022年8月19日（金）（必着厳守）とする。

※コロナウィルス感染症の感染拡大に備え、動画を撮影しておいてください。

■ 送付先

大会事務局 日本バトン協会 九州支部

〒862-0924

熊本県熊本市中央区帯山 4-20-33-206

TEL 090-3329-4296

古庄 幸代

■ 参加諸経費 郵便局振込口座

記号：17170 番号：3821961

名前：日本バトン協会九州支部

※最終的な「大会スケジュール」及び「注意事項」等については、大会 2 週間前に九州支部HPに掲載とともに出場団体へメール送信（予定）致しますのでご確認下さい。

■種 目

◆ 第50回 バトントワーリング全国大会九州予選

★ 学校部門《小学校・中学校・高等学校・大学》

バトン編成

★ 一般部門《U-12・U-15・U-18・OPEN》

バトン編成

エンターテイメント編成《OPEN》

※幼保団体で全国大会出場希望団体は、部門は設けないが支部予選に出場すること。

◆ 第27回 全九州バトンフェスティバル

★ フェスティバル部門

◆ 第10回 全九州フリースタイルコンテスト

★ フリースタイル個人《ジュニア・シニア》

★ フリースタイルペア《ジュニア・シニア》

★ フリースタイルチーム

■出場資格

- (1) ①参加者は大会申込時までに、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟登録、構成員登録を終了していること。(登録申請中は認めない)
②大会出場ごとに出場メンバー表又は、構成メンバー表を提出すること。
③構成員登録は原則1団体とする。但し、学校区分と一般区分の2つの団体に構成員登録をすることが出来る。(構成員登録をしていない団体からの出場は認めない。)
- (2) 2022年8月19日(金)【期日厳守】までに所定の手続きを終えていること。
- (3) 大会参加に要する経費は参加団体・参加者の負担とする。
- (4) 納入された大会参加費は返却しない。
- (5) ①団体及び構成員登録者の全国大会九州予選への参加は1回とする。但し学校区分と一般区分両方に構成員登録をしている者は、各1回ずつ参加出来る。(全九州バトンフェスティバル・全九州フリースタイルコンテストとの重複参加は可。)
②九州独自の大会である、全九州バトンフェスティバル・全九州フリースタイルコンテストに関しては、重複参加出来る。
③全国大会九州予選以外の大会については、1団体より1大会に複数参加出来る。
- (6) 全国大会九州予選に出場する団体は県の推薦を受けること。(別紙の推薦状を提出すること)
- (7) ①大会に使用する演技曲は、使用する音源の出版元へ団体ごとに使用許諾の申請を必ず行う。
②CD等に録音する際、発生する「録音利用の申請」や大会当日に使用する曲に発生する「演奏利用の申請」は大会事務局が一括して行う。
③「録音利用」に対して著作権協会からの請求金額は団体の自己負担とする。
「演奏利用」に対して著作権協会からの請求金額は大会本部の負担とする。
※大会に使用した演技曲について、出版元とのトラブルが生じた場合、団体の責任の下に処理すること。
- (8) 全ての大会種目に対し、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。

■引率者について

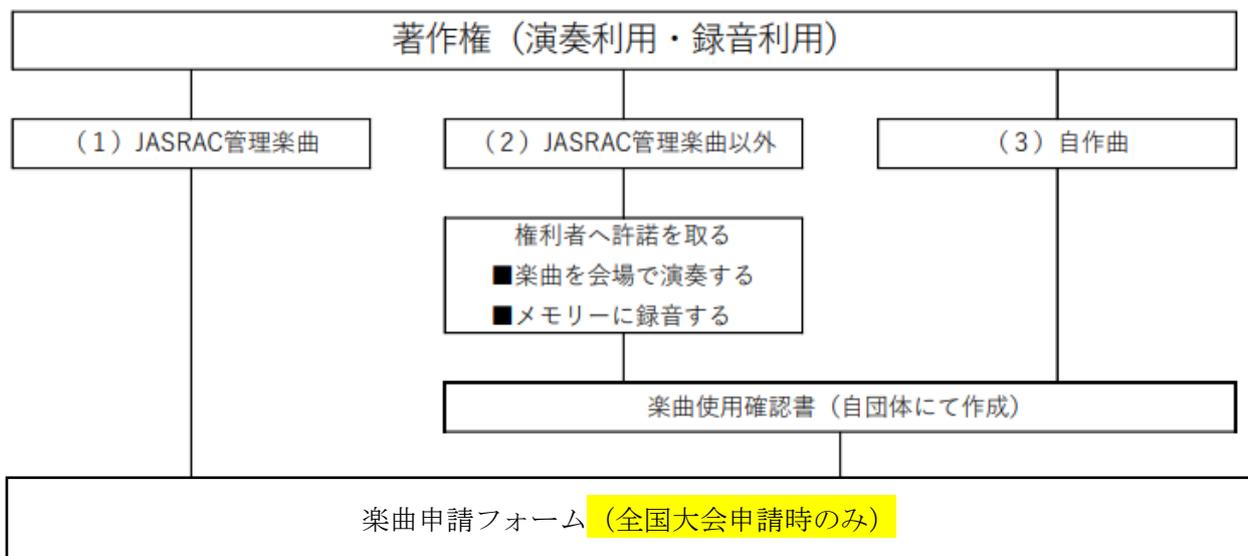
出場団体(チーム)の引率者は2名とし引率者リボンを配布する。

全大会における肖像権について

大会参加者は肖像権を日本バトン協会九州支部へ譲渡するものとする。
申込時に、写真及びビデオ撮影についての「回答書」を提出すること。
「回答書」の提出がない場合は承諾したものとする。

全大会における著作権について (重要)

JASRAC (日本音楽著作権協会) の管理の有無に応じて、以下の提出を行ってください。



(1) JASRAC 管理の楽曲【市販楽曲】

当協会では演奏利用の申請を行います。録音利用は支部大会と異なる楽曲を使用する場合のみ、当協会でも申請いたします。

■提出物：楽曲申請フォーム (九州支部では、従来通り演奏利用明細書・録音利用明細書を提出してください)

(2) JASRAC 管理ではない楽曲【市販楽曲・著作権フリー曲・自作アレンジ曲】

自団体で、権利者に楽曲を会場で演奏する許諾および、会場での演奏のためにメモリーへ録音する許諾を得る必要があります。

■提出物：楽曲使用確認書※責任者名で作成してください (JASRAC 管理楽曲ではないことを明記の上、楽曲使用確認書を責任者名で作成し、九州支部に提出してください。)

楽曲申請フォーム (九州支部では、従来通り演奏利用明細書・録音利用明細書を提出してください)

(3) 自作曲 (オリジナル)

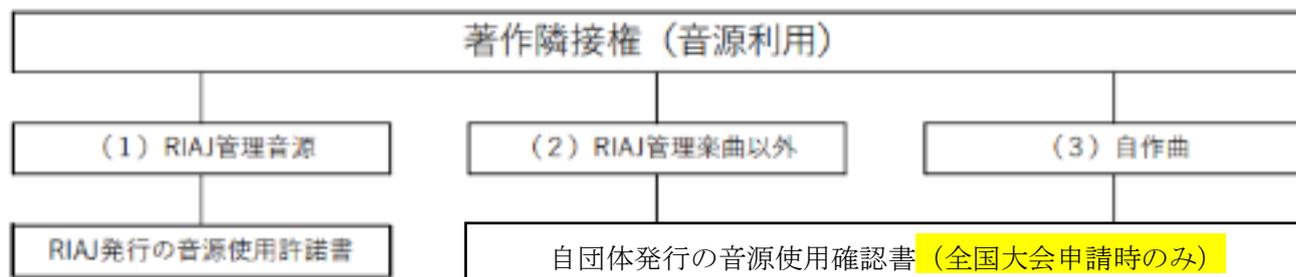
自団体が全ての権利を有している楽曲 (既存の楽曲を編曲した場合は該当しません)

■提出物：楽曲使用確認書※責任者名で作成してください (JASRAC 管理楽曲ではないことを明記の上、楽曲使用確認書を責任者名で作成し、九州支部に提出してください。)

楽曲申請フォーム (九州支部では、従来通り演奏利用明細書・録音利用明細書を提出してください)

全大会における著作権隣接権について

大会における著作権隣接権について RIAJ（日本レコード協会）の管理の有無に応じて、以下の提出を行ってください。



(1) RIAJ 管理楽曲【市販楽曲】

■提出物：RIAJ 発行の音源使用許諾書

（九州支部では、音楽著作権使用許諾確認書も必要です。）

(2) RIAJ 管理ではない楽曲【市販楽曲・著作権フリー曲・自作アレンジ曲】

■提出物：自団体発行の音源使用確認書（九州支部では、音楽著作権使用許諾確認書を提出してください。）

※版元の音源使用許諾書がある場合は提出してください。

※版元から音源使用許諾書が発行されなかった場合は、確認書（版元より許諾書発行が無かった場合に記入）にも記入すること。

(3) 自作曲（オリジナル） 自団体が全ての権利を有している楽曲（既存の楽曲を編曲した場合は該当しません）

■提出物：自団体発行の音源使用確認書（九州支部では、音楽著作権使用許諾確認書を提出してください。）

災害・感染症などの緊急対応について

災害や感染症などの緊急事態状況下の大会開催は、日本バトン協会九州支部が総合的に判断し、延期または中止とする場合がある。尚、参加団体、観客、大会関係者の安全性と支援を意図することを目的とし、実施要項を一部変更することもある。

第50回バトントワーリング全国大会 支部別出場枠

バトン編成 支部別参加枠

	学校部門	一般部門
北海道	1	1
東北	6	6
関東	21	16
北陸	5	3
東海	14	10
関西	14	15
中国	3	4
四国	1	1
九州	4	10
沖縄	1	1
合計	70	67

支部別参加枠は過去の支部大会参加数の割合を元に算出した。

- ① 部門別総数を支部の実情に合わせ、構成別に振り分け使用できる。
(九州大会申込締切後に代表枠は理事会にて決定する。)
- ② 上記参加枠の他に、一般社団法人日本バトン協会が必要と認めた場合は参加を許可することがある。
- ③ 幼保団体の参加は支部大会に参加し支部より推薦された団体を実行委員会にて参加を決定する。
- ④ 構成別枠数及び追加希望（追加希望は各部門1枠まで）を支部より **2022年10月3日（月）13時まで**に提出すること。追加希望枠受け入れは実行委員会で決定し通知する。
- ⑤ 最終使用枠数を **2022年11月4日（金）13時まで**に支部より提出すること。
(10月3日（月）に提出した枠数より部門内において1枠のみ移動することができる)

【学校部門】

1. 出場資格

バトン編成

- (1) 大会申込時までに、一般社団法人日本バトン協会の小学校・中学校・高等学校・大学の学校区分に団体加盟登録していること。
会員組織規程に準じる。 ※幼保も同様とする。
 - ① 大会には団体加盟登録している団体名、構成員登録名で出場すること。
 - ② 出場メンバー（補欠2名を含む）は当該学校団体の在籍学生で、大会申込時までに当該学校団体に構成員登録していること。
 - (ア) 出場メンバーとは、当日演技フロアに入場し演技する者であること。
 - (イ) 出場メンバー数は、申請した人数内であること。
 - (ウ) 登録補欠メンバーとして2名までおくことができる。
 - (エ) 出場メンバーの変更は登録補欠メンバーであること。
- (2) 九州支部より推薦された場合、2022年12月10日(土)全国大会に出場可能な団体。
 - ① 構成は支部推薦と同一であること。
- (3) 1団体及び構成員登録者の九州予選、学校部門の出場は1回とする。
*ゲスト及びセレモニー等の参加はこの限りではない。

2. 参加申込み

- (1) 提出物
 - ① 参加申込データの提出
 - ② 出場メンバーの提出
 - ③ 音楽著作権に関する情報の提出
 - (ア) 音楽著作権使用許諾確認書（添付書類含む）
 - (イ) 演奏利用明細書
 - (ウ) 録音利用明細書

※JASRAC 管理楽曲以外は楽曲使用確認書（自団体作成）も必要です。
- (2) 大会参加費
 - ① 団体参加費・個人参加費(補欠2名を含む)を納入すること。
*大会参加に要する経費は参加団体の負担とする。
*納入された大会参加費は返却しない。
- (3) 申込期限
 - ① 出場資格に関わる提出の期限は2022年8月19日(金)とする。

3. 構成

- (1) 人数は4名以上とする。
- (2) 構成は以下の通りとする。

小学校

- (ア) 単一団体加盟登録の小学校構成
- (イ) 複数の団体加盟登録による合同小学校構成

中学校

- (ア) 単一団体加盟登録の中学校構成
- (イ) 複数の団体加盟登録による合同中学校構成

高等学校

- (ア) 単一団体加盟登録の高等学校構成
- (イ) 同一学校法人による中等高等学校の団体加盟登録の学校構成
- (ウ) 複数の団体加盟登録による合同高等学校構成

大学

- (ア) 単一団体加盟登録による大学構成
- (イ) 複数の団体加盟登録による合同大学構成

4. 演技

(1) 演技

- ① **手具、衣装、使用曲等の演技に関わるすべてにおいて、国歌、国歌を編曲された楽曲及び国旗の使用は不可とする。**

(2) 手具

- ① 手具編成はバトン編成とする。

【手具における詳細及び定義】

「手具」バトンを自らが用いて演技するもの。

小学校 中学校

①バトン編成

- (ア) 1人1本のレギュラーバトンを使用すること。但し、演技において複数本の使用は可とする。
- (イ) 器物・特殊効果の使用は不可とする。

高等学校 大学

①バトン編成

- (ア) 1人1本のレギュラーバトンを使用すること。但し、演技において複数本の使用は可とする。
- (イ) 器物・特殊効果の使用は不可とする。

【補足】

「器物」 バトン・コスチューム類のどれにも属さず、作品の演出効果の為に用いるものを総称したもの。*器物の使用は不可とする。

「特殊効果」 乾電池を使用しフラッシュ・ストロボ・各種ライト類（ケミカル類含）等の光の効果を用いた全てのもの。*特殊効果の使用は不可とする

（3）使用曲

①使用曲は自由とする。

②使用曲の長さは以下の通りとする。

(ア)

小 学 校	中 学 校
-------	-------

 3分00秒以内（過分5秒可）

(イ)

高等学校	大 学
------	-----

 3分30秒以内（過分5秒可）

（4）演技フロア

① 演技フロアは縦25m×横30mとする。

② 演技フロアの入場は出場メンバーのみとする。

（5）入退場

① 演技フロアへの入退場は指定された入場口より入場し、退場口より退場すること。

(ア) 係員の合図に従い、速やかに入場すること。

(イ) 入場口の再入場・追加入場は禁止する。

*正面演技ラインより前方側の使用は原則として禁止する。

（6）計時

①演技フロアへの入場から退場までを演技時間とし、演技時間は5分00秒以内とする。

（入場の合図をした時点からすべての出場メンバーが退場ラインを通過した時点までとする。）

②審査時間の計時は、使用曲の第1音から最終音までとする。

*使用曲の長さを事前に提出すること。

*登録引率者が使用曲開始の合図を音響にすること。

5. 罰 則

（1）参加不可

①『1. 出場資格』規定に反した場合は、参加資格を失うこともある。

*上記に該当した団体は、理事会より大会への参加不可を通知する。

*大会時に『1. 出場資格（3）』規定に反した団体の成績判定・表彰は授与されないものとする。

（2）違反

①『3. 構成』規定に反した場合。

②『4. 演技（1）（2）』規定に反した場合。

③非社会的な行為、大会主旨に反する行為があった場合。

*成績判定・表彰は授与されないものとする。

(3) 警告

- ①『2 参加申し込み(2)(3)』規定に反した場合。
- ②『4. 演技(3)(4)(5)(6)』規定に反した場合。
- ③ 理事会の指示に従わなかった場合。

*上記に該当した団体は警告書を通知する。

(4) 注意

- ①『2. 参加申し込み(1)』規定に反した場合。
- ② 他の参加団体に迷惑となる行為のあった場合。
- ③ 演技中に危険な行為のあった場合。

*上記に該当した団体は注意書を通知する。

★上記(1)から(4)の内容により、次大会の参加資格を失うこともある。

6. その他

- (1) 演技順は、理事会にて抽選の上決定する。
- (2) 使用許諾を受けた曲の入ったCD(エントリーナンバー・団体名記入)を音響ブースに持参すること。
- (3) 大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- (4) 本規定の主旨を変更することなく、理事会において加除訂正を行うことができる。

【一般部門】

1. 出場資格

バトン編成

- (1) 大会申込時まで、一般社団法人日本バトン協会の一般区分として団体加盟登録していること。会員組織規程に準ずる。 ※幼保も同様とする。
 - ① 大会には団体加盟登録している団体名、構成員登録名で出場すること。
 - ② 出場メンバー（補欠2名を含む）は、大会申込時まで、当該一般団体に構成員登録していること。
 - (ア) 出場メンバーとは、当日演技フロアに入場し演技する者であること。
 - (イ) 出場メンバー数は、申請した人数内であること。
 - (ウ) 登録補欠メンバーとして2名までおくことができる。
 - (エ) 出場メンバーの変更は登録補欠メンバーであること。
- (2) 九州支部より推薦された場合、2022年12月11日(日)全国大会に出場可能な団体。
 - ① 構成は支部推薦と同一であること
- (3) 1団体及び構成員登録者の九州予選、一般部門の出場は1回とする。
*ゲスト及びセレモニー等の参加はこの限りではない。

エンターテイメント編成

- (1) 大会申込時まで、一般社団法人日本バトン協会の一般区分として団体加盟登録していること。会員組織規程に準ずる。
 - ① 大会には団体加盟登録している団体名、構成員登録名で出場すること。
 - ② 出場メンバー（補欠2名を含む）は、大会申込時まで、当該一般団体に構成員登録していること。
 - (ア) 出場メンバーとは、当日演技フロアに入場し演技する者であること。
 - (イ) 出場メンバー数は、申請した人数内であること。
 - (ウ) 登録補欠メンバーとして2名までおくことができる。
 - (エ) 出場メンバーの変更は登録補欠メンバーであること。
- (2) 1団体及び構成員登録者の一般部門への九州大会の出場は1回とする。
*ゲスト及びセレモニー等の参加はこの限りではない。
- (3) 第49回バトントワーリング全国大会または支部大会のペップアーツ編成に参加していること。
但し、第50回九州予選に出場されていなくても上記(3)の出場団体は全国大会に直接エントリーできます。
- (4) 一般社団法人日本バトン協会より推薦されていること（全国大会にエントリーする場合）

2. 参加申込み

(1) 提出物

- ① 参加申込データの提出
- ② 出場メンバーの提出
- ③ 音楽著作権に関する情報の提出
 - (ア) 音楽著作権使用許諾確認書 (添付書類含む)
 - (イ) 演奏利用明細書
 - (ウ) 録音利用明細書

※JASRAC 管理楽曲以外は楽曲使用確認書 (自団体作成) も必要です。

(2) 大会参加費

- ① 団体参加費・個人参加費(補欠2名を含む)を納入すること。
*大会参加に要する経費は参加団体の負担とする。
*納入された大会参加費は返却しない。

(3) 申込期限

- ① 出場資格に関わる提出の期限は2022年8月19日(金)とする。

3. 構成

- (1) 人数は4名以上とする。
- (2) 構成は以下の通りとする。

バトン編成

U-12

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上12才以下のみの出場メンバーによる団体
*2023年4月1日までに繰り上がる年齢

U-15

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上15才以下のみの出場メンバーによる団体
*2023年4月1日までに繰り上がる年齢

U-18

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上18才以下のみの出場メンバーによる団体
*2023年4月1日までに繰り上がる年齢

OPEN

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上の出場メンバーによる団体
*2023年4月1日までに繰り上がる年齢

エンターテイメント編成

OPEN

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上の出場メンバーによる団体
* 2023年4月1日までに繰り上がる年齢

4. 演技

(1) 演技

- ①手具、衣装、使用曲等の演技に関わるすべてにおいて、国歌、国歌を編曲された楽曲及び国旗の使用は不可とする。

(2) 手具

- ①手具編成はバトン編成・エンターテイメント編成とする。

【手具における詳細及び定義】

「手具」バトン・ポンポンを含め演技者個人が容易に携帯でき、自らが用いて演技するもの。武器及び宗教的なイメージを与える物には配慮すること。

U-12

U-15

U-18

OPEN

①バトン編成

- (ア) 1人1本のレギュラーバトンを使用のこと。
但し、演技において複数本の使用は可とする。
(イ) 器物・特殊効果の使用は不可とする。

②エンターテイメント編成

- (ア) 2種類以上の手具を使用し、ペップアーツ演技を主とした編成であること。
(イ) レギュラーバトンの使用は可とする。
(ウ) 器物・特殊効果の使用は不可とする。

【補足】

「器物」 バトン・ポンポン・手具・コスチューム類のどれにも属さず、作品の演出効果の為に用いるものを総称したもの。*器物の使用は不可とする。
「特殊効果」 乾電池を使用しフラッシュ・ストロボ・各種ライト類（ケミカル類含）等の光の効果を用いた全てのもの。*特殊効果の使用は不可とする。

(3) 使用曲

- ① 使用曲は自由とする。
- ② 使用曲の長さは、以下の通りとする。
 - (ア)

U-12

U-15

 3分00秒以内 (過分5秒可)
 - (イ)

U-18

OPEN

 3分30秒以内 (過分5秒可)

(4) 演技フロア

- ① 演技フロアは縦25m×横30mとする。
- ② 演技フロアの入場は出場メンバーのみとする。

(5) 入退場

- ① 演技フロアへの入退場は指定された入場口より入場し、退場口より退場すること。
 - (ア) 係員の合図に従い、速やかに入場すること。
 - (イ) 入場口の再入場・追加入場は禁止する。
 - * 正面演技ラインより前方側の使用は原則として禁止する。

(6) 計時

- ① 演技フロアへの入場から退場までを演技時間とし、演技時間は5分00秒以内とする。
(入場の合図をした時点からすべての出場メンバーが退場ラインを通過した時点までとする。)
- ② 審査時間の計時は、使用曲の第1音から最終音までとする。
 - * 使用曲の長さを事前に提出すること。
 - * 登録引率者が使用曲開始の合図を音響にすること。

5. 罰則

(1) 参加不可

- ① 『1. 出場資格』規定に反した場合は、参加資格を失うこともある。
 - * 上記に該当した団体は、理事会より大会への参加不可を通知する。
 - * 大会時に『1. 出場資格 (3)』規定に反した団体の成績判定・表彰は授与されないものとする。

(2) 違反

- ① 『3. 構成』規定に反した場合。
- ② 『4. 演技 (1) (2)』規定に反した場合。
- ③ 非社会的な行為、大会主旨に反する行為があった場合。
 - * 成績判定・表彰は授与されないものとする。

(3) 警告

- ① 『2 参加申し込み (2) (3)』規定に反した場合。
- ② 『4. 演技 (3) (4) (5) (6)』規定に反した場合。

- ③ 理事会の指示に従わなかった場合。
 - * 上記に該当した団体は警告書を通知する。

(4) 注意

- ① 『2. 参加申込み(1)』規定に反した場合。
- ② 他の参加団体に迷惑となる行為のあった場合。
- ③ 演技中に危険な行為のあった場合。
 - * 上記に該当した団体は注意書を通知する。

★上記(1)から(4)の内容により、次大会の参加資格を失うこともある。

6. その他

- (1) 演技順は、理事会にて抽選の上決定する。
- (2) 使用許諾を受けた曲の入ったCD(エントリーナンバー・団体名記入)を音響ブースに持参すること。
- (3) 大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- (4) 本規定の主旨を変更することなく、理事会において加除訂正を行うことができる。

【主旨】バトントワーリングの普及・発展のために、初心者から全国大会を目指すチームまで、幅広いチームが出場できる場を設けることを目的として開催する。

(1) 構成

- ① 構成メンバーの年齢は自由とする。
- ② 人数・・・4名以上
※構成メンバー数の変更は登録人数内であれば可。但し棄権者届けを提出すること。

(2) 演技フロア・入退場

- ① 演技フロア
 - ア)演技フロアは縦25m×横30mとする。
 - イ)演技フロアの入場は構成メンバーのみとする
- ② 入退場
 - ア)演技フロアへの入退場は指定された入場口より入場し、退場ラインを通過して退場口より退場すること。
 - イ)係員の合図に従い、速やかに入場すること。
 - ウ)入場ゲートの再入場・追加入場は禁止する。
 - エ)退場ラインより退場後は、速やかに退場口より退出すること。
*正面演技ラインより前方側の使用は原則として禁止する。
但し、会場により前方側を退場ラインにする場合がある。

(3) 使用曲

- ① 使用曲は自由とする。但し、国歌、国歌を編曲された楽曲の使用は不可とする。
- ② 使用曲の長さ・・・3分30秒以内(過分5秒可)

(4) 計時

- ① 入場から退場までは4分30秒以内とする。
- ② 引率者1名は音響席にてスタート・ストップの合図を行うこと。

(5) 手具・器物・コスチューム

- ① 手具は自由とするが、必ず使用すること。
※手具とは、演技者個人が容易に携帯でき、自らが用いて演技するもの。
- ② 器物の使用は可とする。
- ③ 武器及び宗教的なイメージを与える物・コスチューム等は禁止とする。
国旗の使用は不可とする。

(6) 審査・審判

- ① 審査員3名以上
審査員は100点法により採点し全審査員の平均点(小数点第1位まで)とする。
*全体的効果
*作品完成度
*パフォーマンス(コンビネーション・ステージング・ボディワーク)を考慮し総合的に審査する。

② 審判員 2 名。

- * 構成に関する審判
 - * フロアの使い方及び入退場に関する審判
 - * 計時及び時間に関する審判
 - * 演技曲の作動及び停止に関する審判
- ※ 審判に関する内容は、コメントで注意する。

(7) 評価・表彰

- | | |
|-----------------|------|
| * 80 点以上 | ⇒ 金賞 |
| * 65 点以上～80 点未満 | ⇒ 銀賞 |
| * 65 点未満 | ⇒ 銅賞 |

- ※ 参加団体に各賞の賞状を授与する。
- ※ 金賞受賞団体に副賞を授与する。
- ※ 手具が 1 度も落下しなかった団体にノードロップ賞を授与する。
(ポンポンのみの編成は該当しない)

(8) その他

- ※ 大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- ※ 演奏利用明細書・録音利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書(添付書類を含む)の提出
- ※ JASRAC 管理楽曲以外は楽曲使用確認書(自団体作成)も必要です。
- ※ 演技順については、理事会にて抽選の上決定する。
- ※ 使用許諾を受けた曲の入った CD (エントリーナンバー・団体名記入) を当日音響ブースに持参すること。

- ④ 演奏利用明細書・録音利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書(添付書類を含む)の提出
※JASRAC 管理楽曲以外は楽曲使用確認書(自団体作成)も必要です。

(5) 入退場に関する規定<自由演技(フリースタイル)全種目>

- ① 入退場については、次の通りとする。
- ア) 演技者は、名前をアナウンスされてから審査員より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始めなければならない。
 - イ) 音源CDのスタート(演技開始)とストップ(演技終了)の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は引率者が音響席にて行うこと。
 - ウ) 演技者は、演技(計時)終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し、入退場は会場によりその限りではない。
 - エ) 入退場は曲(音楽)無しで行うこと。

(6) バトン及びコスチュームに関する規定

<個人種目・ペア種目・チーム共通>

- ① バトンについては次の通りとする。
- ア) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
 - イ) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。但し、グリップテープはシャフトの長さの1/2までとし、センターから同等に巻くこと。
 - ウ) グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい。
 - エ) テープやテープの類似品以外の付属品などを使用することはできない。(視覚的補助及びハンドリング補助のためは不可)
 - オ) ペア・チームはグリップテープの色や巻き方を同一とすること。
- ② コスチュームについては次の通りとする。
- *スポーツであることを前提にコスチュームに関する規定は設けない。
 - 但し、手のひらと顔を覆うようなものは不可とする。
- ③ 演技前にバトン及びコスチュームのチェックを行う。審判員はコスチュームの不備等について警告する。
- ④その他
- a) 演技スペースへタオル、パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
 - b) 怪我のための包帯等は可。
 - c) 必要ならばメガネは可。サングラス、光ものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止とする。
 - d) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
 - e) スポーツ競技を加味し、適度なメイクアップは良いが、装飾(顔に模様を描く等)は禁止とする。
 - f) 大会期間中のアクシデント(体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる)について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査委員長・実行委員長(大会役員)が協議し決定をする再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところの採点とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

(7) 審査内容は次の通りとする。

① 個人種目

- ア) 技術 テクニック／スピード／3モード(エアリアル・ロール・コンタクトマテリアル)のバラエティー／ボディワークのバラエティー／クリアネス&シユアネス
- イ) 芸術 ジェネラルコンテンツ／ビジュアルミュージカルリティー／空間の利用度／チェンジオブペース／スキルの要求度／演技の優秀さ／正確さ／エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

② ペア種目

- ア) 内容 バトンとボディのバラエティー／エクスチェンジ／移動しながらのバトントワーリング／両手使い
- イ) 実施 滑らかさと流れ／音楽との関わりでの速さ／ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ／バトンとボディの正確な技術／ペアワーク
- ウ) 全体的効果 音楽の解釈とビジュアルミュージカルリティー／時間と空間の利用／ステージング／一貫性と論理的な展開／エンターテインメントの価値／表情と身仕舞い／プロフェッショナリズム (リカバリー能力、ペアの責任)

③ チーム種目

- ア) 内容 バトンとボディのバラエティー／エクスチェンジ／移動しながらのバトントワーリング／両手使い
- イ) 実施 滑らかさと流れ／音楽との関わりでの速さ／ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ／バトンとボディの正確な技術／チームワーク
- ウ) 全体的効果 音楽の解釈とビジュアルミュージカルリティー／時間と空間の利用／ステージング／一貫性と論理的な展開／エンターテインメントの価値／表情と身仕舞い／プロフェッショナリズム (リカバリー能力、チームの責任)

※演技中に演技者は声を掛け合わないこと。

(8) 審査及び判定(成績)に関する規定

① 審査員・審判員は次の通りとする。

- ア) 審査員数は3名とする。
- イ) 審判員・・・計時・罰則1名・フロアモニター1名

② 個人種目

- ア) 審査員が10点法(小数点第1位まで)により採点し、全審査員の平均点とする。

③ ペア種目・チーム種目

- ア) 審査員が100点法(小数点第1位まで)により採点し、全審査員の平均点とする。

(9) 評価に関する規定

個人

- * 8. 0点以上 ⇒金賞
- * 7. 0点以上 8. 0点未満 ⇒銀賞
- * 7. 0点未満 ⇒銅賞

ペア・チーム

- * 80点以上 ⇒金賞
- * 70点以上 80点未満 ⇒銀賞
- * 70点未満 ⇒銅賞

(10) 表彰に関する規定

- * 全てに各賞の賞状を授与する。
- * 金賞受賞チームに副賞を授与する。
- * バトンが一度も落下しなかったチームにノードロップ賞を授与する。

(11) 演技順に関する規定

演技順については、理事会にて抽選の上決定する。

(12) その他

- ① 大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。